

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.24

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	災害用備蓄事業	担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市地域防災計画・鳴門市地震津波対策推進計画・国民保護法第146条・災害対策基本法第49条	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間	開始	平成 <input type="text" value="2017"/> 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なる				終期
(小項目)		危機管理・防災				
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進				
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	災害時に避難所での生活を余儀なくされた市民等が少しでも安心して過ごせるよう、計画的に災害用備蓄物資を整備する。		事業内容(R1)	①災害用備蓄品の買い替え ②賞味期限切れ間近となったアルファ化米を防災訓練や出前講座等に活用 ③災害用備蓄物資等の啓発 ④災害用備蓄資機材の整備					
実施方針	①生命維持や生活に必要な食糧・飲料水等のほか、携帯トイレや生理用品などの避難生活に必要な物資について備蓄を進める。 ②市民への災害用備蓄物資の啓発や、災害用備蓄資機材の整備等についても継続して取り組んでいく。			当初からの 変更点	携帯トイレ購入の入札において、請負差額が生じたため減額補正を行った。				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	携帯トイレ累計備蓄数		51,300	101,400	151,200	199,900	250,100	枚
	2								
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたかを示す指標</small>	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	携帯トイレ累計備蓄数			51,300	101,400	151,200	199,900	250,100	枚

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①携帯トイレ ②生理用品 ③紙おむつ ④尿もれパッド ⑤飲料用備蓄コップ ⑥トイレットペーパー等	①携帯トイレ ②生理用品 ③紙おむつ ④尿もれパッド ⑤飲料用備蓄コップ ⑥トイレットペーパー等	①携帯トイレ ②生理用品 ③紙おむつ ④尿もれパッド ⑤飲料用備蓄コップ ⑥トイレットペーパー等	①携帯トイレ ②生理用品 ③紙おむつ ④尿もれパッド ⑤トイレットペーパー等	継続

事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	10,793	△4,111	6,682	7,062	7,062

事務事業名	災害用備蓄事業
-------	---------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	<p>県と市町村の役割分担や備蓄目標を定めた「南海トラフ地震等に対応した備蓄方針」で示された備蓄目標の中で、アルファ化米・粉ミルクなどすでに目標を達成している。 また、賞味期限切れ間近となったアルファ化米を活用し、市民への災害用備蓄について啓発を行うとともに、災害用備蓄資機材の整備等についても継続して取組んだ。</p>
--------	-----------	--

指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 携帯トイレ累計備蓄数	101,400	151,200	199,900	250,100	300,410	枚
	2						
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	携帯トイレ累計備蓄数	101,400	151,200	199,900	250,100	300,410	枚
	目標達成率(実績/目標)		100.0				%

事業費推移(円)	年度	平成30年度決算	令和元年度決算			
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計	4,744,274	0	5,410,374	0	5,410,374
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	738,000	0	1,661,000	0	1,661,000
	地方債	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	0	0	0	0	0
	その他	3,000,000	0	3,000,000	0	3,000,000
	一般財源	1,006,274	0	749,374	0	749,374

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	携帯トイレ累計備蓄数		成果指標に対する所見	携帯トイレについては、令和4年度までに30万回分の備蓄を目標としており、令和元年度末時点での目標数の確保はできた。		
	目標	151,200	枚				
	実績	151,200	枚				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>災害時に被災した市民が避難所等で安心した生活が送れるように、備蓄計画にある物資以外の備蓄の含め、本市の備蓄計画の見直しを検討する必要がある。 また、現在計画的な物資の備蓄を行う体制が整備されているが、災害時により迅速に対応するためには、保管場所や運搬方法等について検討を要する。</p>				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和2年度	<p>予算の確保に努め、従前より備蓄を行ってきた市災害対策本部13支部に加え、災害時に、地域住民の有効な避難所となる小・中学校に備蓄を行うなど、分散備蓄に努める。</p>
	令和3年度	<p>予算の確保に努め、従前より備蓄を行ってきた市災害対策本部13支部に加え、災害時に、地域住民の有効な避難所となる小・中学校に備蓄を行うなど、分散備蓄に努める。</p>